

かるたの聖地 近江神宮

滋賀県大津市にある近江神宮は、百人一首の1番歌「秋の田の かりほの庵(いほ)の 苦(とま)をあらみ わが衣手は 露にぬれつつ」を詠んだ天智天皇が祀られていることから、「かるたの聖地」と言われています。毎年1月には、かるた日本一を決める「名人位・クイーン位決定戦」が開催され、かるた選手にとってあこがれの地です。天智天皇は、公地公民や税制などの律令制度を確立しました。この歌も、農民の立場にたって秋の収穫の様子を描いています。また日本で初めて水時計を作り、時を知らせたことから、時計の神様とも言われています。

7月19(金)～21日(日)、この近江神宮で全国高校かるた選手権大会が開催されます。各都道府県の予選を勝ち上がった高校生選手たちが、チャンピオンを目指して熱戦を繰り広げます。山陽小野田市在住の高校生たちも、日々の厳しい稽古を乗り越え、本大会に出場します。応援よろしく願いいたします！

小野田高等学校小倉百人一首かるた部顧問 青池のぞみ